

東京都が開発した暑さに強いブルーベリー 「東京ブルーブーケ」 「東京ブルーグランデ」 一般公募により愛称決定！

東京都は、ブルーベリーの新たな品種として、世界初の房ごと収穫に向く「TB-02」、大粒で甘みの強い「TB-04」を開発しました。これらの愛称を昨年秋に募集し、たくさんの応募（約2,000件）の中から厳正なる審査を経て決定しましたので、お知らせします。

今後の本格出荷に向け、ブルーベリーの収穫量が日本一^{*1}の東京都はブランド化を戦略的に講じていきます。

(*1：令和4年産特産果樹生産動態等調査より)

愛称

東京ブルーブーケ

- ◆ 品種名 TB-02
- ◆ 愛称のコンセプト
東京生まれを強調しつつ、
房取りできるという特徴を「ブーケ」に見立てて表現
- ◆ 特徴
 - ・房取りにより収穫作業を省力化
 - ・中～小粒で甘みが強い
 - ・温暖地適応性があり栽培がしやすく、収穫量が多い



東京ブルーグランデ

- ◆ 品種名 TB-04
 - ◆ 愛称のコンセプト
東京生まれを強調しつつ、
大きな実を「グランデ」という言葉で表現
 - ◆ 特徴
 - ・ハイブッシュ系^{*2}としては温暖地適応性があり、
都内にも適する
 - ・大粒で甘みが強い
 - ・6月上旬から収穫が可能で、観光農園向け
(開園時期を前倒しすることも可能に)
- (*2：食味に優れるが、暑さに弱い栽培種)



今後の予定

- ・ 2つの愛称については、商標登録に向け出願中
- ・ 令和8年度より、都内農家へ苗木の販売を開始（東京ブルーブーケ）
- ・ 令和9年度より、都内農家へ苗木の販売を開始（東京ブルーグランデ）
- ・ 令和11年度より、本格的に出荷予定

参考

<ブルーベリーについて>

日本での本格的な商業生産は小平市で始まったと言われ、収穫量は東京が日本一です。多摩地域から区部まで広く栽培され、観光農園を中心に、消費者に人気です。

※都内の主な産地：青梅市、町田市、八王子市、練馬区、日野市など^{*3}

(*3：東京都農作物生産状況調査結果報告書（令和5年産））

<開発の背景>

ブルーベリーにはハイブッシュ系とラビットアイ系の2種類があります。大粒で食味の良いハイブッシュ系は暑い地域には適しておらず、様々な手間をかけて生産をしてきました。そこで、更に生産性を高めるため、平成15年から（公財）東京都農林水産振興財団で開発を始め、暑い気候でも栽培でき、さらに食味の良い2つの品種が誕生しました。

【問い合わせ先】

○新品種ブルーベリーの特性、愛称の決定に関すること

（公財）東京都農林水産振興財団 農林総合研究センター 研究企画室

電話 042-528-5216

○東京オリジナル品種全般に関すること

東京都産業労働局農林水産部調整課

電話 03-5320-4813